

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表日 2026年 2月 20日

事業所名 こばんはうすくら 上尾教室

保護者等数(児童数) 16名 回収数 15件(割合93%)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	0	0	4	走り回れるくらいなので、活動スペースとしては十分だと思います	活動内容によっては公園など外で行ったり、適宜十分に活動ができるよう努めたいと思います。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10	0	0	5	先生の人数や利用人数を知りません	こばん通信などで先生紹介など周知していただきたいと思います。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	0	0	4	ホワイトボードにて予定や役割など、視覚による提示がなされ分かりやすいです	よりご利用者様に分かりやすい環境づくりに努めていきたいと思います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	0	0	2	綺麗で動きやすい環境だと思います	これからも備品の消毒や掃除等に努めたいと思います。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	0	0	1	子どもの変化を感じることができているため、適切な支援が受けられていると感じる	研修などで研鑽し、より専門的な知識を取り入れていきたいと思います。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	1	0	0	月間スケジュールに沿い、療育がなされております	やむない事情で変更する場合は、事前に該当の保護者様にご連絡させていただこう努めています。
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14	1	0	0	定期的なモニタリングにより、具体的な計画をたててくださり助かります。	これからも細心の聞き取りと分析をこころがけていきたいと思います。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	1	0	3	面談にて決めている	これからも研修などで研鑽し、適切な支援が設定できるようにしていきたいと思います。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	0	0	0	計画に沿った支援が行われていると感じる	職員が支援計画に沿うことを意識しながら支援していく様月に1回以上のミーティングを行っています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	0	0	1	季節ごとの製作など、色々な材料や方法のアイディアが素晴らしいなど思います	プログラムを通じて季節を感じたり、社会のルールを学んだり様々な経験ができるよう心がけていきたいと思います。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	4	0	3	8	交流会などに参加したがりません。	ご利用者様や保護者様のニーズに応じて企画していきたいと思います。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	0	0	0	わかりやすく説明してくれました	これからも丁寧なご説明を心がけていきたいと思います。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	0	0	0	計画をみながら、説明をしてもらった	これからも丁寧なご説明を心がけていきたいと思います。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	2	3	5	イベントがあるのでそれだと思っていました	運動会以外にも、保護者会などご利用者様や保護者様のニーズに応じて企画していきたいと思います。
	15	日々から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	14	0	0	1	送迎時に日々の様子を伝えてくださります	引き渡し時の申し送りやライン、連絡帳などで保護者様との情報共有を行っていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	1	1	1	相談すると対応してくれる	定期的なモニタリングや、保護者様のお困りごとがあれば都度、面談などで支援させていただけたらと思います。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	0	0	1	保護者、本人に寄り添ってくださっています	ご利用者様や保護者様の気持ちや状況に寄り添った支援ができるようこころがけていきたいと思います。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	0	5	8	機会がありましたら参加したいです	ご利用者様や保護者様のニーズに応じて企画していきたいと思います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	0	0	1	対応の体制は整備されており、周知されている	相談や申し入れについては、職員間で迅速に共有、対応ができるよう努めています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	0	0	0		保護者様へ正しく情報伝達できるようにラインや連絡帳を活用していきます。

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14	0	0	1	分かりやすく発信されていると思います	SNSや毎月のごばん通信、ラインなどで活動や月間行事予定を発信していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	0	0	1	通信などでモザイクなどの対応はしていただいている	個人情報のファイルは鍵付き書庫で管理し、写真掲載に関しては必ずご意向をお伺いするように配慮に努めています
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	0	0	5	1.訓練には子供も参加しており、消防隊員の方が来てくださるなど、本格的な内容となっていると思う 2.マニュアルの中身までは知らないでわからないとしました	マニュアルの周知・説明に努めています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	0	0	4	定期的に避難訓練が行われており、子供も参加している	これからも毎月プログラムに避難訓練を組み入れ、ご利用者様のいる状況を想定した避難訓練を実施していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	0	0	4	出かける時はおそろいのものをつけ、目印にしたりなど、細かな安全対策をしてくれていると感じる	事故なく安全に過ごせるよう努めるとともに、安全計画の周知に努めています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	0	0	3	必要時にはご連絡いただいている	事故が発生したときに迅速に対応ができるよう、職員間での流れの確認を定期的に行なっていきたいと思います。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	14	1	0	0	職員の方が優しく接してくださり安心感があります	事故のないように安全計画やヒヤリハットを活用しながら支援を進めていきたいと思います。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	15	0	0	0	通所後は毎回楽しかったと言い帰つてきている	毎回楽しく療育に参加できるよう工夫をしていきたいと思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	2	0	0	満足しているが、入れる日が限られてしまっている	研修などで研鑽し、より良い支援を行えるように努めています。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

公表日

2026年 2月 20日

事業所名

こばんはうすさくら 上尾教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	広く使えるようプログラムに応じて机等を移動している	ご利用者様が増えたときに必要に応じて見直していきたい
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	プログラムに応じて多く職員を配置するなどの工夫をしている	ご利用者様の特性によっては、手が足りないと感じることがあるためご利用者様の特性に応じて多く配置できるよう努めていきたい
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	朝の身支度の手順表やおもちゃの写真カードなど視覚支援の工夫をしている	ご利用者様の特性に応じて適宜対応していきたい
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	毎日の掃除や床に遊んでいるおもちゃ以外のものを置かないようにしている。	感染症の時期などおもちゃの消毒を念入りにしている
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	クールダウンが必要なときは先生と一緒に廊下や相談室でクールダウンをするようしている	職員が一人づつ必要があるため、抜けたところをカバーする場面を想定した流れを確認していきたい
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1	毎朝の朝礼と月に1回のミーティングを必ず行っている	出勤日数の少ない職員も広く参画できるよう努めていきたい
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	モニタリング等で保護者とコミュニケーションをとっている	今回の評価アンケートが初めてなので、結果を踏まえて改善に努めていきたい
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	月一回のミーティングで気づいたこと職員に聞きたいことを話し合っている	より多くの職員の意見を業務改善に反映できるよう努めていきたい
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5	外部評価は行っていない	今後必要に応じて行なっていきたい
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	3	定期的に研修を受ける機会がある	外部での研修などにもより多く受講できるよう工夫していきたい
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムを作成、公表されているか。	7	0	子どもの興味や季節に合わせて作成している	研修などで研鑽し、より良いプログラム作成に反映していきたい
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	その子によって苦手なこと得意なことがあるのでステップアップできるよう計画している	細心の聞き取りと分析をこころがけていきたい
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	責任者を筆頭に職員間のコミュニケーションができる環境を作っている	全職員の意見をより多く取り入れができるよう工夫していきたい
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	日々職員間で情報共有している	共有の時間をより多く取れる工夫をしていきたい
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	3	標準化ツールと日々の行動観察により、適応行動を確認している	こばんはうすの標準化されたツールを使用しているが、今後より良いツールがあれば追加していきたい
適切な支援の実施	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1	ガイドラインを踏まえ、本人・家族・移行・地域支援を計画に反映している	地域との連携はまだあまりしていなかっため、必要に応じて企画していきたい
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	必要に応じて職員間で相談している	出勤日数の少ない職員からの案も幅広く反映していきたい
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	ご利用者様や季節によって変えている	保護者様からのニーズも機会があれば取り入れていきたい
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	ニーズに合わせて個別と集団を組み合わせて計画を作成し、それに沿って支援を行っている	研修などで研鑽し、より専門的な支援ができるよう努めていきたい
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	朝礼で1日の流れや昨日の出来事を共有している	朝礼の時間の出勤ではないパートさんにも出勤時に打ち合わせ内容が詳しく伝わるよう工夫していきたい
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	3	良かった点、改善が必要な点を、話すようにしている	就業時間が短いパートさんは振り返りに参加できないこともありますため、気付いた点を書き残すなどの工夫をしていきたい
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1	業務日報や連絡帳で記録している	多くの職員が記録を活用できるよう工夫していきたい

切 な 支 援 の 提 供	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	日々の子どもの様子に合わせて、定期的にモニタリングを行い、計画の見直しをしている	研修などで研鑽し、より正しく見直しの必要性を判断していけるよう努めていきたい
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6	1	一日の中でも複数の基本活動ができるよう一日の流れを組んでいる	基本活動を定期的に確認する機会を設けていきたい
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	製作などの活動でも自己選択をして取り組めるようにしている	自己決定をする場面のあるプログラム作りをこころがけていきたい
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	職員間で情報共有してから参加している	全職員からご利用者様の状況をより詳しく聞き取ることができるよう工夫していきたい
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	必要に応じて連携する体制を整えている	より他機関と連携体制を整えていけるよう努めていきたい
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	1	学校の年間計画等、職員室に掲示している。また送迎時に先生と申し送りしている	学校との情報共有をより密にできるよう努めていきたい
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	年長児には就学面談を行い、進学する学校について必要があれば幼稚園等と情報共有している	放デイからご利用のご利用者様については就学前の保育所等の情報共有はないため、必要に応じて行なう
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	3	まだ事例がない	まだ事例がないため必要に応じて情報提供を行なう
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	4	市のつくし学園との連携をとっている	必要に応じて研修等を受ける機会を作なう
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	5	公園に行った時に関わる機会はある	ご利用者様や保護者様のニーズに応じて企画していきたい
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2	スケジュールが合えば参加したいと機会をみている	参加できるよう努めていきたい
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	日々のFBや連絡帳で伝えている	より共通理解を深めるよう努めたい
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特訓等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4	事業所で行なっている具体的な支援をお伝えするなどの工夫をしている	ご利用者様や保護者様のニーズに応じて企画していきたい
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時に説明をしている。その他適宜質問にお答えしている	どの職員に聞いても説明ができるように努めたい
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	モニタリング時に保護者様と個別支援計画と一緒に確認している	よりご利用者様やご家族の意向が反映できるよう努めたい
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	説明をして目を通してもらい同意を得ている	より詳しく支援内容をお伝えすることができるよう努めたい
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	相談に対して助言をしたり、事業所での支援方法をお伝えする工夫をしている	より保護者様が相談しやすい環境を作りたい
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	4	2事業所合同で、保護者参加型の運動会を行なっている	ご利用者様や保護者様のニーズに応じて企画していきたい
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	職員間で情報共有し、再発防止に務めている	苦情について迅速かつ適切に対応できるようマニュアルや流れの確認をしていきたい
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	リタリコブログやインスタを通して活動の内容を毎日発信するように努めている	より多くの情報を発信できるよう努めたい
	43	個人情報の取り扱いに十分留意しているか。	7	0	特にSNSなどは必ず写真掲載同意書で意向確認したり取り扱いに気をつけている	定期的に取り扱い方法や取り扱い内容の確認をしていきたい
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	子どもには視覚支援などを用いてより伝わりやすい方法で情報伝達する工夫をしている	より円滑な意思の疎通ができるよう努めたい
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6	教室同士で利用者さんのご家族を招待して運動会や夏祭りを行なったことはある	ご利用者様や保護者様のニーズに応じて企画していきたい
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	実際に地震発生のアラームを使ったり机の下に隠れる練習をしている	各種マニュアルの周知に努めたい

非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	月に1回避難訓練や防犯訓練をしている	プログラムの前後にBCPに関する資料を再確認して避難訓練や防犯訓練に対する意識を高めてていきたい
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のことの状況を確認しているか。	7	0	服薬について変更があった時に、職員全員に共有されている	薬が変わったなどの情報更新も含め全職員が把握できるよう努めてていきたい
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	食べたり、触れたりするものは保護者と確認している	情報の更新があった場合に全職員が迅速に把握できるよう努めてていきたい
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	研修等の他、子供達にも指導をしている	研修や訓練等で研鑽し、より安全に支援ができるよう努めてていきたい
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	日々の保護者とのコミュニケーションにおいても行っている	安全計画を広く周知していかたい
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	2	ヒヤリハットが見つかった場合は適宜記録して再発防止に努めている	全職員で再発防止の検討ができるよう努めたい
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	1	研修をして虐待防止に努めている	研修等で研鑽し、より防止に努めたい
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	1	まだ身体拘束の事例がない	身体拘束の必要がある事例に備えて研修等で研鑽に努めたい